
海賊戦隊ゴーカイジャー!!絶対に笑ってはいけないのぞヒビ探偵事務所!!

ターザン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

海賊戦隊ゴーカイジャー！！絶対に笑ってはいけないのぞビビ探偵事務所！！

【コード】

N3613N

【作者名】

ターザン

【あらすじ】

海賊戦隊ゴーカイジャーがのぞビビ探偵事務所で地獄の一日をすごす。

プロローグ

海賊戦隊「ゴーカイジャー」のメンバー6人は突然ターザンに呼び出された。

ターザン「よく来たね「ゴーカイジャー」。」

マーベラス「一体何のようだ、俺達はスーパー戦隊の大きいなる力を手に入れるのに忙しいんだよ。」

ジヨー「さつあと終わらせてくれないか?」

ターザン「まあまあまあ・・・皆さんのレンジャーキーにある仕掛けをしましてね。」

ルカ「私達のレンジャーキーに?」

ターザン「その通り、俺に逆らつたらビリビリがでるようにしておいた。」

ゴーカイジャー「はあ!?!?」

ハカセ「ちょっとお聞かせください!?!?」

アイム「詳しくお聞かせください!?!?」

ターザンは「ゴーカイジャー」に指を差す。

ターザン「ズバリあなた達はこれからぞビビ探偵事務所で1日探

「…まあ、こいつをやつてもらうことすら…」

ゴーカイジヤー「はあ！？」

鎧「い、いきなり言われても困るつすよー?」

ターザン「はい逆らつたー！」

ターザンは手に持つて いるスイッチを お す。

גָּלְעָד

「アーリー・スミスの死を知った時、私は心から悲しんでいた。」

ハガセーあ
あまりの痛さに鎧の声がこぼれてしまう！？

マーべラス「おいてめえ！－」つちはもうちょいで最終回なんだぞ！－！」うしてる間にもバスコに大いなる力を奪われちまう！－」

マーべラスはターザンの胸ぐらを掴む。

ターザン「そ、それは大丈夫ですほら――！」

マーベラス「？」

ターザンが指を差す方向にはシンバルを持ちメタリックな感じのサルといかにも裕福そうな格好のどつかで見た事ある人がいた。

マーベラス「バスコか?」

バスコ「そつだよマベちゃん。」

よく見ると手錠をかけられている。

ジヨー「・・・捕まつたのか?」

バスコ「うん。」

ルカ「・・・本氣で?」

バスコ「YES。」

ハカセ「・・・なぜ?」

バスコ「なぜでしょう?」

アイム「私達に聞かれても・・・」

鎧「とりあえず安心・・・?」

ターザン「はいレッツゴー!!」

ゴーカイジャー「待てこらああーー!」

・・・・・

なんだかんだでのぞビビ探偵事務所に行く事になつたゴーカイジャー、行き方は・・・

マーベラス「バスか!?」

ターザン「ガレオンは私が預かつてます、ちなみにこのバスに乗つた瞬間1日絶対に笑つてはいけません。」

ジヨー「なんだそんな事か。」

ルカ「さつせと終わらせよ。」

ゴーカイジャーはバスに乗つた。

『海賊戦隊ゴーカイジャー！！絶対に笑つてはいけないのぞヒビ探偵事務所！！』

スタート！！

バス内にて

バス内

マーベラス「何でバスなんだ、そもそもバスなんかで世界のはざまに行けるのか？」

ターザン「大丈夫大丈夫、安心してください。」

ルカ「逆に不安なんだけど。」

そういうしてるうちにバスが止まった。

ジヨー「普通に客が乗つてくるのか。」

ハカセ「・・・ってあれ？」

ゴーカイジャーは目を丸くした。

？？？「一度バス内で話そつか。」

？？？「いいですよ。」

機動戦士ガンダム

アムロ
ブライト

ガンダムのアムロとブライトがバスに入ってきた。

「ブライト、せつかくバスに入ったんだ、互いの意見をぶつけようじゃないか！！」

「ブライトはアムロを殴りつけた。

鎧「いやいやバス内は静かにしようよ。」

アムロ「・・・殴ったね？」

「ブライト、殴って何が悪い……！」

ブライトは両腕を大きく広げ勢いよく後ろを見る。

アーム「何故うしろを？」

ルカ「さあ？」

「ブライトがアムロの胸ぐらを掴む。

アムロ「やめてくださいよ、そんなにガンダムを動かしたいなら、あなたが動かせばいいでしょう！？」

「ブライトは再びアムロを殴りつけた。

マーベラス「なんだよあのセリフいつののかよ。」

ジヨー「わけがわからん。」

アムロはブライトを睨みつける。

アムロ「二度もぶつた・・・親父にもぶたれちゃこちよ × *！」

x * !

!」

ルカ「ぶふつ！？」

ハカセ「うははは！？大事なところ噛んだ！！」

すると

『ルカ、ハカセ、out！！』

ルカ「えつ！？」

ハカセ「な、何！？」

するとバスがいきなり止まるごセイレッドがバスに入ってきた。

ハカセ「ゴセイレッド！？」

ルカ「つてきやあああ！？」

ルカのレンジヤーキーが電気を発した。

マーベラス「お、おい・・・」

ハカセ「ちょつ、何！？」

ハカセは四つん這いにされ、ゴセイレッドがバットでハカセのケツを叩いた。

ハカセ「ぬああ！？」

ゴセイレッドは平然と帰つて行つた。

ジヨー「こ、これは・・・」

ターザン「笑つたら男はケツバット、女は電氣ショックなんで。」

ゴーカイジャーは全員鳥肌が立つた。

後々お互いをつぶし合つ事は言つまでもない。アムロ達は何事もなかつたように立ち去つた。

・・・・・

開始15分

再びバスが止まつた。

マーベラス「な・・・」

? ? ? 「いやあ、今回もバッジゲットだぜ！――」

ポケットモンスター

サトシ

サトシがバスに入つてきた。

もちろんパートナーのピカチュウもいるはずだが

サトシ「良かつたなピカチュウ！――」

ピカチュウ？「ビッガッヂュウウ。」

全身に黄色いペンキをねつたくつた中年の男だった。

アイム「うう……」

鎧「ふはははははー?」

『鎧、out』

次にバス内に入ってきたのは

スパイダーマン「鉄十字キラーーー!スパイダーマンーー!」

鎧「スパイダーマンー!?」

スパイダーマンはゴムでできたバットで鎧のケツを叩く。

鎧「あやあー?」

・・・・・

ゴーカイジャーは既につかれはじめていた。

ルカ「でもマーベラスやジヨーにアイム、ずるくない?」

マーベラス「笑ってないんだから仕方ないだろ?」

そしてついに始まってしまった。

ハカセ「はあ……」

アイム「どうしたのですか？ハカセさん。」

ハカセ「・・・布団がふつとんだ。」

マーベラス「・・・」

ジヨー「・・・」

アイム「・・・」

ハカセ「・・・ぶつ！！」

『ハカセ、out』

マーベラス「自滅してんじやねえか。」

再びゴセイレッド参上。

ハカセ「ちょっとダメだつて、ぎゃあー！？」

ジヨー「ふつ・・・バカな奴だ。」

ルカ「ていうかジヨー、今鼻で笑つたでしょ？」

ジヨー「は？」

『ジヨー、out』

ジヨー「ち、ちょっと待て！・・・今のは笑いじゃ・・・」

？？？「よおーー。」

ドラベース
シロえもん

ジョー「ま、待て！！野球選手は・・・」

シロ「問答無用おおおーー。」

シロえもんが全力でジョーのケツをケツバットで叩く。

ジョー「ぐあああー？」

シロえもんは去つていった。

ジョー「つ、つぶし合いが始まるとは。」

ターザン「あと10分くらいで到着です。」

マーベラス「長いか長くないかわからねえなあ。」

アイム「そうです・・・」

アイムがふと外に目をやると

アイム「あはははははー？」

マーベラス「どうした？アイ・・・」

マーベラスも外に目をやる。

「アーベラス」もまたまたまたー?.

ルカ「ちょっとどうしたのよ？」

残りの4人が外に目をやると

シミー（ハハ）・・・耐えらる」

川力 - 二〇一〇年！？

鑑一
卷之二

外には二輪車に乗っているワルズ・ギルがいた。

「フルス - 心の花よ! 出でぐるかしいいしいい!!」

ワ川ア・ヰ川は声を裏返しながらそぞろ呟いた
ゴ ウンヅア 全體の震防ガ崩壊シ二つは言

マーベラス「声が……声がぎやはははははー?」

ジロー「もひ、もつダメだははははー!?

ルカ「うははははは！？」

ハカセ「な、中の人のははははははは！」？

アイム「ヤ、三輪車あせはせはせはー!？」

鎧「ぐははははー!？」

『全員、お七』

するビバスが止まり入ってきたのは

「5人揃ってゴレンジャー！！」

偉大なる先輩ゴレンジャーだった。

「ゴレンジャー」「トイヤー！！」

アカ、アオ、ミドはマーベラス、ジヨー、ハカセにケツバット、モモ、キはスイッチを押してルカとアイムに電気ショック。ゴレンジャーは去つていった。

マーベラス「く、くそお・・・・いてえ・・・・」

鎧「あ、俺助かつた。」

ジヨー「・・・・・」

シロえもん「うりやあああ！！」

鎧「何故シロえもん！？」^ヤ「やあああ！？」

何故かシロえもんが現れ鎧にケツバット。

ルカ「助かるわけないでしょ？（怒）」

ターザン「みなさん、着きますよ。」

マーベラス「よ、ようやく終わった・・・」

しかし、これからが地獄の始まりだった。

つづく

バス内にて（後書き）

最近今更ながら著作権を気にするよくなつたターザンでした。

探偵事務所内にて

ゴーカイジャー一同はついにのぞヒビ探偵事務所に到着した。

ターザン「ええみなさん、ここがのぞヒビ探偵事務所です。」

ルカ「一回来たから知ってる。」

ターザン「では中へ入りましょう。」

ターザンは事務所の入り口でパスワードを入力した。

『声帯検査です。』

ターザン「オンドゥルラギッタンディスカアアア！－！」

ジヨー「おいおい。」

『声帯検査、一致しません。』

ハカセ「ぶふつ！？」

『ハカセ、out』

マーベラス「なに笑つてんだ。」

ハカセ「だつてあんな全力で叫んでおいて検査にひつかかるって・・・

・

次に出てきたのは

mother

ネス

ネス「やあーー！」

ネスは持参のバットでハカセのケツを叩く。

ハカセ「ぎゃああーー？」

アイム「それにしても辛いですね。」

鎧「いのままじやー日もひません（汗）」

なんとか扉を開け中に入るゴーカイジャー一同。

ターザン「まずは所長に会いに行きます。」

ジヨー「よく見たら改築してるな。」

二階

ターザン「所長、ゴーカイジャーを連れてきました。」

? ? ? 「い苦勞様。」

所長
ダークドリーム

ルカ（所長になつてたんだ。）

ダークドリーム「お久しぶりねゴーカイジャー、早速だけあなた達の『コードネーム』を決めるわ。」

アイム「『コードネーム』ですか？」

ダークドリーム「じゃああなたかい。」

ダークドリームは鎧を指差す。

鎧「俺ですか？」

ダークドリーム「そつよ、そうねえ……あなたは『オタク』。」

鎧「オ、オタク？」

ダークドリーム「次あなた。」

ダークドリームはアイムを指差す。

ダークドリーム「あなたは……『ヒメチヤン』。」

アイム「なんだか懐かしいですね。」

ダークドリーム「次あなた。」

ダークドリームはハカセを指差す。

ダークドリーム「あなたは『ハカセ』。」

ルカ、マーべラス「……ぶふつー!?」

『ルカ、マーべラス、out』

ルカ「まんまじゃん!/?きやあー!/?」

マーべラス「なつ、お前はー!/?」

現れたのは星飛雄馬

飛雄馬「だあああー!..!」

マーべラス「あやあああー!/?」

星飛雄馬は持参のバットでマーべラスのケツを叩く。
ルカは電気ショックでしびれる。

ダークドリーム「次あなた。」

ジヨー「『無愛想』とかだろ。」

ダークドリーム「『アタック』。」

鎧「ふふつー!」

『鎧、out』

現れたのは

？？？」吼新星！！キバレンジャー！！！」

キバレンジャーがバットで鎧のケツを叩く。

鎧「痛いけどキバレンジャーだから幸せえええええ！」

ルカ「キモイわ！！」

ジョー「髪型をネタにされるとのはな（汗）」

ダークドリーム 一次あなた

ルカーがつこいいのでお願ひ

ターケンームー『盜賊』

二十九

ターサン -

川大一
・・・
五五・・・
七

卷之三

ルカ「ちょっとまんまだし」の沈黙はひきよ・・・きやあああ！？」

ダークドリーム「最後にあなた。」

マーベラス「なんだよ。」

「。『なんがうめん』『マベイ』『マーメード』『ドリーム』『ダーク』

マーベラス「他よつましか。」

ターザン「チツ」

鎧（今舌打ちした！？）

そしてゴーカイジャー一同は控え室に行く。
その途中

ターザン「あ、のぞビビ久しふり~。」

夢原のぞみ

のぞみ「ターザンさんお久しぶりです！！」

響「ああー！ゴーカイジヤーだー！」

マーベラス「よう。」

のぞみ「セリセリ」ねあげます。」

のぞみは突然飴の入ったプラスチックの容器を渡す。

「…マーベラス」お、ありがて…にゃああああああああああああ

蓋を開けようとした時マーべラスは一回くらり声を裏返して絶叫し

た。

アイム「あはははははは!?

『鎧、アイム、out』

シロえもん「どうやああーーー」「

鎧「またがせやあー?」

アイム「きやあー！ ピリピリイイイ！？」

シニーマニベトヌ あやかヒツリかきたか?」

マニラ・ああああ

のそみと響は全速力で逃げて行った

•
•
•
•
•
•
•
•

ターザン「みなさん、お疲れさまです、まだけつひとつ時間があるのでそれまで控え室でお休みください。」

ターザンはゴーカイジャーを控え室に入れ出て行く。ゴーカイジャー一同はそれぞれの席につき机にうなだれる。

ハカセ「やつと休めるねえ。」

ルカ「まつたく・・・椅子に座るのもやつじだわ。」

ふと鎧は机に手をやる。

鎧「そういうひきだしの中何か入ってますかね？」

つづく

探偵事務所内にて（後書き）

次回、恒例のひきだし！！

鎧は自分の机にある3つの中を出しのまゝ、一つを開けた。

鎧「何もない。」

2つ目を開けた。

鎧「ん？なんかDVDがありました。」

ハカセ「DVD？」

アイム「一体何でしようか？」

3つ目

鎧「ス、スイッチ？」

赤いスイッチがあつた。

鎧「マーべラスさん達のところもあるんじゃないですか？」

ジョー「見てみるか。」

ジョーの引き出し一つ目

ジョー「何もない。」

一いつ皿

ジョー「ない。」

3つ目

ジョー「・・・・・」

大量のゴミ

マーべラス「ぶふつ！？」

アイム「・・・ふふつ・・・」

『マーべラス、アイム、out』

マーべラス「な、何故ゴミが・・・」

ドラベース

エモル

エモル「はい！」

マーべラス「ぐああ！？」

アイム「ビリビリイイ！？」

ジョー「ルカ、次お前だ。」

ルカ「はいはい。」

ルカは一つ目の引き出しをゆっくり開ける。

ルカ「ん？・・・・ぶふつ！？」

バスコそっくり人形

ゴーカイジャー「うははははは！？」

『全員、out』

登場したのは・・・

怪傑ズバット

イナズマン

キカイダー01

キカイダー

キョーダイン

マーベラス「なんか色々出てきた！？ぐああー！？」

ゴーカイジャー「うわああー！？」

ゴーカイジャー一同はケツバットやら電気ショックやらをくらった。

ズバット「ズバットと解決！！」

・・・・・

マーベラス「しかしがバスコそっくり人形とは・・・」

ルカ「他は何もないわ。」

アイム「私がまいります。」

アイムが一つ目の引き出しを開けた。

アイム「何もありません。」

二つ目

アイム「ありません。」

三つ目

アイム「ほつ・・・何もありませんでした。」

ルカ「ハカセ！…早く！…」

ハカセ「わ、わかつたよ・・・」

ハカセが引き出しを開けようとすると

鎧「ルカさん、人形貸してください。」

ルカ「何に使う気？」

ルカはバスコそつくり人形を鎧に渡す、鎧は無言でバスコそつくり人形を操りリュウレンジャーのポーズをつくる。。

ハカセ、鎧、マーベラス「…ぶふつははははははは…？」

ハカセ、鎧、マーベラス、out

再びイナズマン、キカイダイ、ズバット参上。

マーベラス一鑑!!てめえぐああ!!?」

ハカセ、何で人形なんかできやあああ！？」

鎧
-
な
なんとなくこれおも!?

スバツトースバツと解決!!!

• • • • •

ハ力セ「今度こそ開けるよ！！」

一一

ハカセ「なし！！」

一一

ハカセ「なし！！」

三つ目を開けようとしたその時

バ
チツ

ハカセ「うわああああ！？」

ルカ「うはははははは！？」

『ルカ、おうた』

ルカが衝動で笑ってしまった。

ルカ「きやあああ！」

マーベラス「しかし女だけじゃなくハカセまで電氣か。」

ジヨー「あとはマーベラスだけか。」

マーベラス「あ、ああ、ハカセ三つ目は何もなかつたのか？」
ハカセ「うん。」

マーベラスが引き出しを開ける。

一つ目

マーベラス「ま、またDVDか。」

二つ目

マーベラス「なし。」

三つ目

マーベラス「・・・ぶふつ！？」

ワルズ・ギルのブロマイド（大量）

『マーべラス、おうた

アカレンジャー参上

アカ「トイイヤーー！」

マーべラス「ぐああーー？」

・・・・・

ゴーカイジャー一同は引き出しを全て見終わった。

鎧「スイッチにDVD・・・気になりますね。」

ルカ「つてよく見たらバスコそっくり人形にもスイッチがついてる
んだけど。」

アイム「とりあえず確かめてみましょ。」

ヘビ

ルカはちょっととした好奇心でバス「そつくり人形のスイッチを押した。

『マ～ベちゃん、タ～イキ～ック』

『マーベラス』・・・は?』

『マーベラス、タイキック』

すると

? ? ? 「テンマレンジャー!! 天重星シヨウジ!!」

鎧「テンマレンジャーだあ!!」

テンマ「おひあ!!」

テンマレンジャーはマーベラスを思こきり蹴り飛ばす。
マーベラス「さやあああ!!?」

ジョー「いや、こいつ仕掛けもあるのか?」

ハカセ「と、とつあえずスイッチは押さないで・・・」

アイム「あつ・・・」

ポチッ

鎧「お、押しちゃったんすか！？」
「..」

すると

『マーべラス、タイキック』

マーべラス「なあああああにいいいいいー！？」
「..」

？？？「体に漲る無限の力！！アンブレイカブルボディ！！ゲキレ
ツドー！」
「..」

現れたのはゲキレッド。

ゲキレッド「ワッキワッキだああああーー！」
「..」

マーべラス「× *ー？」

鎧「マーべラスさああんー？」

ゲキレッドは四足で走り去つて行つた。

ルカ「ああ・・・早く明日になんないかな・・・
「..」

ハカセ「そうだこのDVDなんだろ？」
「..」

ハカセはDVDに興味を持つ。

ジヨー「・・・見るのか？」
「..」

アイム「ですが笑いの仕掛けは手早く無くしたほうが良いと思います。」

アイムの意見にみなが頷く。

ハカセ「よし、やつてみよ。」

ハカセはDVDを部屋にあつたプレーヤーで読み込ませた。

【テレビ画面】

「さあ始まりましたお笑い探偵事務所！！今日はどんな芸人が来るかな？」

？？？「はいど～も～仮面ライダーガイです。」

？？？「イエローライオンです。」

現れたのは仮面ライダーガイとライブマンのイエローライオンだった。

ガイ「いやああつはなついでんな～。」

イエロー・ライオン「古いぞガイ！！そりゃタイキックだ！！」

ガイ「ツツコミが弱いよイエロー・ライオン～、君もタイキックだ！！」

・・・・・・

ゴーカイジャー「・・・?」

鎧「仮面ライダーガイ?・・・まさか・・・」

ジョー「イエローライオン、大原丈・・・まさか・・・」

そのままか

『ジョー、鎧、タイキック』

ジョー、鎧「やつぱりいい!?

ジョーと鎧は同じ如前のヒーローの責任としてタイキックをされる。

?/??「ナアアアミすわああああん!!」

ワンピース
サンジ

鎧「ガヤああああー!?」

ジョー「ぐああー!?」

・・・・・

ルカ「ていうか笑い関係なくない?」

ハカセ「僕もそう思つてた。」

するとターザンが部屋に入ってきた。

ターザン「みんな、体験入学者歓迎会をやるから俺についてくれ。」

マーベラス「外はなんでも起こりそつだな。」

ゴーカイジャー一同はターザンの跡についていき歓迎会会場に向かう。

弓削田の中原にて（後書き）

はつやうり言つてギャグどうですかね？

歓迎会にて

ゴーカイジャー一同は歓迎会会場に到着。

マーベラス「どうせまた仕掛けがあるんだろ。」

アイム「一体何が起ころるのでしょうか?」

する

ターザン「それではこれより、のぞヒビ探偵事務所の体験入学者歓迎会を始めます、探偵事務所長・ダークドリームよりあいさつがります。」

ダークドリームが「一カイジャー」回の前に立つ。

ダークドリーム　・　・　TODAY　IS　GOOD　WE THE

ハカセ、ルカ、out

現れたのは仮面ライダー オーズ。

オーズ「セイヤアアアアアアアア！」

オーズのケツバットは誤つてハカセの背中に直撃。

ルカ「きやあ！？もう、きなり英語つて…！」

「ターザン、続いて、異世界からのゲストです。」

仮面ライダーファイズ×スイートプリキュア！！転校生は仮面ライダー！？

犬上狼

狼「えへ、犬上狼でーす。」

マーベラス「まさかＺＯＯの他作品からくるとはな。」

狼「とりあえず体験入学者、控え室に戻りなさい…！」

鑑 「ええ・・・」

アイム「来たばかりなのですか…」

とりあえずゴーカイジャー一同は控え室に戻ろうとするが突然目の前にダマラスが現れた。

ジョー「ダマラス！？」

マーべラス「何しに来やがつた!?

ダマラス「・・・・」

すると

ダマラス「このダマラス様が貴様らを・・・黙りすーー！」

ゴーカイジャー「・・・・」

ターザン「・・・・」

狼「・・・ふふつ！？」

『狼、out』

狼「ええ！？俺も！？」

現れたのは仮面ライダー・ファイズ、乾巧。

ファイズ「手加減しねえぞ、ヤアアアーー！」

クリムゾンケツバット

狼「ぎやああああああああああああああああああーー！」

狼は元の世界に飛ばされた。

ハカセ「は、早く戻るつよーー！」

ゴーカイジャー一同は控え室に戻った。

・・・・

ターザン「しかしビリですか、気分は？」

ジヨー「最悪だ。」

ルカ「本当、早く終わりたいわ。」

ゴーカイジャー一同は控え室に入つた。

ターザン「昼食の時間がもうすぐですのでしばらくお待ちください。」

「

鎧「またなんか仕掛けがありそつ……」

ついで

昼食にて

控え室に戻ったゴーカイジャー一同は昼食の時間になつた。

ターザン「みなさん、昼食はバイキングです。」

マーベラス「バイキング？あの好きなもん食つていいくつてやつか？」

ターザン「そうです、ですが食べられるのはこれから始めるゲームで決めます。」

すると控え室に料理とカードが運ばれた。

アイム「カード？」

ターザン「まことにカードを引いていて1人三枚集まつたら終わりです、カードには料理の名前が書いてあります。」

マーベラス「面白そうじゃねえか、やるぞ。」

じやんけんでカードをひく順番を決める。

ジョー ルカ 鎧 ハカセ アイム マーベラス

ジョー「まずは俺だな。」

ジョーがカードをひく。

ジョー「オニギリか。」

ジョー、オニギリが来た

ルカ「次は私ね。」

ルカがカードをひく。

ルカ「ひじきかあ。」

ルカ、ひじきが来た

鎧「次は俺ですね！…おりやあ！…！」

鎧がカードをひく。

鎧「・・・ふふつ！？」

『鎧、out』

現れたのは仮面ライダーシン、バットを構える。

シン「べおお！…！」

鎧「ややあ！？」

マーべラス「鎧、何をひいたんだ？」

鎧がカードを見せる。

桃太郎の格好をしたマーべラスのプロマイド。

『鎧、ジヨー、ルカ、ハカセ、アイム、Out』

アイム、ルカ「きやああ！？」

現れたのは

宇宙刑事ギャバン、シャリバン、シャイダー

「お手本ハンズ」

シャーリー・ラン - はあ！！！

シナリオ

•
•
•
•
•
•
•
•

マーベラス「合成レベル高すぎだろ。」

鎧「俺結局何も無し……」

ハ力セ「次は僕だね。」

ハカセはカードをひく。

ハカセ、玉子焼き get

ハカセ「やつた!!」

アイム「次は私ですね。」

アイムがカードをひく。

アイム、納豆 get

アイム「納豆とは何でしょ?」

鎧「ええ!? 納豆知らないんですか!?!？」

ジョー「俺がよく体力つけるために毎朝食べてるだろ。」

アイム「あの臭いがしてネバネバしているやつですか?」(汗)

ルカ「確かにアイム苦手そうだよね。」

マーベラス「やつと俺か。」

マーベラスはカードをひく。

マーベラス、イナゴ get

マーベラス「イツ!?!」

ジョー「イナゴ?」

ルカ「あの虫みたいなーの！？ひいいいいいいい！」

・・・・・

なんだかんだで

ジョー オニギリ、漬け物

ルカ ひじき、五目ご飯

鎧 白米

ハカセ 玉子焼き、ベーコン

アイム 納豆、味噌汁

マーベラス イナゴ $\times 2$

ハカセ「うはははははは！」

『ハカセ、out』

ハカセ「うはははははは！？イナゴ $\times 2$ ！？」

再び仮面ライダーシン。

ハカセ「うああ！？」

ジョー「ラストだな。」

ジョーがカードをひく。

一品没収

ジョー「は？」

ジョーはオニギリを没収された。

ジョー「なにい！？」

ルカ「次は私ね。」

ルカはカードをひく。

ルカ、横取り

ルカ「横取り？」

ターザン「メンバーの料理をひとつだけ横取りできます。」

ルカ「じゃあハカセのベーコン。」

ハカセ「ええ！？」

鎧「次は俺！！氣力てんしこいといいいん！！」

鎧はカードをひく。

鎧、赤龍軒の餃子

鎧はかんきわまつてダイレンジャーのメンバー全ての名乗りポーズをした。

ハカセ「つ、次は僕だね。」

ハカセはカードをひく。

ハカセ、チャーハン get

ハカセ一也、世二た！！

卷之三

アーティスト

「ライム」はガリトをひく

アイム一シビカリ8月号

ジョー「アイムは和食統一か。」

アイム「良かつた…」

マーベラス「たく、もうイナ」はかんべ・・・」

マーベラス、イナゴ age t

マーベラスは声を裏返しながら叫んだ。
そして昼食。

亮「鑑君、いくらでも焼くからねーー！」

鎧「はいはい！おおおおかわりお願ひします！」

ルカ「五目ご飯も結構美味しい！！」

ジヨー「漬け物ひとつだと……」

マーベラス「ましなほうだうーー！」

ハカセ、このチヤーハン美味しい！！』

「アイム、納豆というのは美味しいですね。」

それそれ廻転を滞ませて休憩していくと

金

カイシャー・・・・
スルスル！？

鎧がバスコそつくり人形でアクションシーンを再現していた。
鎧も自滅だが

ルカ、アイム「きやあ！？」

重甲ビーファイター

ブルービート

ビーファイターカブト

仮面ライダーカブト

カブタックスーパーモード

カブト一同「トイヤ！..」

男子「ぎやああ！？」

つづく

● 食にて（後書き）

年末までに延長します

探偵調査見学にて

昼食をすませたところで、ゴーカイジャーのもとにターザンが来た。

ターザン「みなさん、今から探偵調査の見学に行きます。」

アイム「見学ですか?」

ルカ「わいわと終わらせでよ?」

ゴーカイジャー一回はのぞみ、響、ダークドリームのもとに向かった。

・・・・・

のぞみ「え~と依頼人さんは~・・・あ、ゴーカイジャー~・~」

響「見学だつけ?」

マーベラス「ああ、わいわと終わらせてくれ。」

ダークドリーム「そんな簡単に終わるわけ・・・」

コンコン
ガチャ

のぞみ「あ、依頼人さん!~!」

ちびまる子ちゃん

野口さん

ハカセ「ぶふつーー?」

『ハカセ、おう』

巨人の星

星飛雄馬

飛雄馬「うおおおーー!」

ハカセ「あやああーー?」

ダークドリーム「野口さん、依頼は?」

野口「裏山にいる大きなカブトムシと一緒に採つてほしいんだ、キッキッキッ・・・」

のぞみ「よしカブトムシを捕まえるぞーー! けつてーい

・・・・・

裏山

アイム「本当に裏山まで来てしましたね。」

響「構え!」

のぞみ、響、ダークドリームは虫取り網を構える。

のぞみ「とねーー。」

のぞみが捕まえたのは・・・

? ? ? 「おばあちゃんが言つていた。」

仮面ライダーカブト

マーべラス、ジョー「ぶふつー?」

『マーべラス、ジョー、タイキック』

ハカセ「タイキック! ?」

カブト「はあーー。」

『R i d e r · k i c k ! ! !』

マーべラス、ジョー「ぎゃああああすー?」

響「どうーー。」

ビーファイターカブト

ダークドリーム「たあーー。」

仮面ライダーストロンガー

こんな感じでカブトもどきがいっぱい捕まつた。

ルカ「ふははははははははー!? カブトムシ、つぱい、うははははは
!?」

『ルカ、おう』

ルカ「きやあああああああー!?」

・・・・・

そして

のぞみ「野口さんーーお田舎でのカブトムシはー!?」

野口さん「このカブトムシ・・・私が求めてたやつ、キッキッキッ。

ー

選んだのはカブタックだった。

マーベラス「懐かしそぎるな。」

響「よしーー依頼成功ーー戻ろう。」

段々日が暮れてきた、そしてここから恐怖の夜ののぞみ探偵事務所の幕開けだった。

夕食にて

なんだかんだでもう夕食の時間。

ルカ「なあにがなんだかんだよー…すういへんかったわよー…」

控え室に戻ると

「激走戦隊ーー！カアアアレンジャーーー！」

ゴーカイジャー「帰れーー！」

・・・・・

鎧「うう、お尻が…」

ハカセ「やつと夜だあ。」

すると

ターザン「みなさん、夕食の時間です、別室に移動しますよ。」

ジヨー「また笑わせるつもりか…」

ゴーカイジャー「回はターザンにつれてこき食事会場にいく。」

のぞみ「あつーーみんなもーじで食べるのー。」

アイム「そのようです。」

響「やつた！！」

ダークドリーム「食事も美味しくなりそうね。」

ゼクロス「そうだな。」

ハカセ、ルカ「ぶふつ！？」

『ルカ、ハカセ、out』

そこには顔だけゼクロスの村雨良がいた。

ゼクロス「とおーー！」

ハカセ「うわあーー？」

ルカ「電氣いやあああああーー！」

ターザン「席についてください。」

それぞれ席につき食事を始める。

鎧「食事中くらいはゆっくりしたいですよね。」

ジョー「全くだ。」

ジョーが味噌汁の器の蓋を開けると

ジョー「・・・・ふふ・・・・」

インサーントイラストのおふが味噌汁に入っていた。

『ジヨー、〇〇七』

マーベラス「なあに笑つて」

マーベラスもジヨーの味噌汁を見る。

マーベラス「ふはははははー!？」

『マーベラス、〇〇七』

現れたのはバロムーと仮面ライダーW。

W、バロム「せえのーーー！」

ジヨー、マーベラス「ぎゃああああすー?」

・・・・・

アイム「しかしうつ時ですか。」

ハカセ「早く食事済ませちやおつよーーーまたなんか来るよーーー」

その予想は見事に的中

ターザン「それではのぞひび探偵事務所のお笑いショーを開催しますー!」

すー!』

「本当に始まつたあああ！？」

ターザン「どうぞ。」

現れたのは、

江戸川コナン ダークブリキュア

ダークーおい小僧、調子こるなよ。」

「ハシ、おしゃべりで隠せ！」

ターケフリギニアと「カンガリ」を隠す。

僕の名前は江戸川一(ナシ)!!

外傳
卷之三
是之
女加
力可
力可

正解はこの俺一筋の人生だ

ターフ二十九とおがの田に抱たる

ビ
シ
ツ
！

ヨーロッパの歴史

タニサン・

タイキ「プリキュア！！ダークパワーフォルテッショモ！！」

コナン「デジクロス……」

ダーク「眞実はいつもひとつ……」

ゴーカイジャー「…………ふふ……」

ゴーカイジャー、out『

鎧「うわあ！？笑つてしまつたあ！？」

現れたのはダークプリキュア、コナン、タイキ、そして

忍たま乱太郎

乱太郎

クレヨンしんちゃん

オケイおばさん

「セーの……」

ゴーカイジャー「中の人がやあああす！？」

・・・・・

ターザン「ああ、食事も終わりましたね？みなさん手を合わせて……」

マーベラス「やつと終わ……」

ターザン「うちゅんです……」

マーベラス「ふふつ！？」

『マーベラス、out』

マーベラス「今のタイミングでそれは無しだろー?」

現れたのはリュウレンジャー。

リコウ「はいいい！」

マーベラス「ぐあああー!?

「ターザン、みんなさんは控え室に戻つてください!」

そもそも終わりに近づく今企画、しかし「一カイジャーの悪夢はまだ終らない。

ヘビ

肝試しにて

「ゴーカイジャーが控え室で休んでいると

ターザン「みなさん、探偵たるもの暗闇でも冷静でなければなりません、なので肝試しです。」

アイム「き、肝試しですか？」

ルカ「嫌よー！絶対嫌！！」

ターザン「はいー！」

ルカ「きやああああああああー！」

ジヨー「やつにえれば逆らつたら電気ショックだつたな。」

マーベラス「やつをと終わらせるべーー！」

・・・・・

事務所内は真っ暗でいくつか不気味な明かりがついていた。

ハカセ「ちよつと暗すぎだよー？」

マーベラス「う、うるせーーー！」

ゴーカイジャーはどんどん奥に進んでいく。

鎧「な、なんか出たりして…」

あると

だらつ だらつ だーだー だらつ だらつ だーだー

鎧が喜ぶ気力溢れるイントロが流れる。

そして

？？？「五星戦隊！！ダイレンジャー！！！」

それはダイレンジャーのスー^ツを無理やり来たバリゾーグ、インサー^ンーン、ダマラス、ジェラシット、ワルズ・ギルだった。

アイム「ふふ！？」

ル力「ふふつ！？」

『アイム、ルカ、out』

アイム、ルカ「きやああああ！」？

マーべラス「こなんとこひまでお仕置きが・・・」

•
•
•
•
•
•

とにかく奥に進むとそこには所長室が

ジヨー「入るぞ…」

すると天井を突き破り何かがぶら下がってきた。

ハカセ「うおおー!?」

?/?/?「アカレンジヤイーー！」

窓をかち割つて

?/?/?「キレンジヤイーー！」

床を突き破り

?/?/?「アオレンジヤイーー！」

壁を突き破り

?/?/?「モモレンジヤイーー！」

時空の扉から

?/?/?「アーテレンジヤイーー！」

「5人揃つて、ゴレンジヤイーー！」

マーべラス「どうから出でくんだけよーー？」

・・・・・・

所長室に入るとそこには6枚のお札があつた。

ルカ「なんか書いてる・・・『控え室に持つて行つてね』だつて。」

ハカセ「とりあえず持つていこ。」

ハカセがお札に触ると

ハカセ「うわああああああああああああああ！」

ジョーフルーツ！？

『ジヨー、out』

現れたのはキュアドリーム。

アーティスト

ジョー「ぐああー!？」

鎧「ドンさん!...ビリビリですか!?

ハカセ「う、うん。」

ルカ「他は…大丈夫みたいね。」

アイム「走つて戻りましょう。」

ゴーカイジャーは走って控え室に向かう。

ルカ「……あれ？みんな？」

ルカはいつの間にかみんなとはぐれてしまっていた。

ルカ「ちょっとみんな！？どこにいんの！？」

ルカは事務所内を走り回る。

？？？「ズバツと…」

ルカ「ひるさい！！」

ズバツ「ぐああー！」

ズバツはぶつ飛ばされとにかく走り回るルカ。

ルカ「はあ・・・はあ・・・」

すると肩に何かが乗つかる。

ルカ「ひつー！」

それは

アイム「ルカさん、大丈夫ですか？」

アイムだった。

後ろにはマーべラス達もいる。

ルカ「ア、アイムウウウウウーー！」

ルカはアイムに抱きついた。

アイム「ル、ルカさん！？」

・・・・・

翌日

ターザン「みなさん、お疲れ様です、ここをでますよ。」

ジョー「つ、ついに・・・」

鎧「終われる！？」

つづく

肝試じにて（後書き）

次回、最終回

最終回にて

「ゴーカイジャー」 同は事務所のロビーにでる。

ターザン「みなさんお疲れ様です、事務所の扉をくぐれば終了です。

すると

のぞみーゴーカイジヤーーー！お疲れしゃま。

鑑
一
五
五
二
！
？

中鑄

現れたのは変身忍者嵐丸。

嵐丸「ええええええええ！」

鎧一さやあ！？

響「本当に疲れ様、ゴーカイジヤンジヤン横丁」！」「

ルカ、アイム「ふふつ！？」

『ルカ、アイム、out』

ルカ、アイム「しびれるウウウウ！？」

ダークドリーム「これはほんのお祝いよ。」

ダークドリームが箱をマーべラスに渡す。

マーべラス「お、ありが・・・」

箱を開けると

ビヨヨーンー！

『マーべラス、ハカセ、タイキック』

お仕置き命令びっくり箱だった。

マーべラス、ハカセ「ええ！？」

現れたのは仮面ライダー エターナルとスカル。

エターナル「スアーー！」

スカル「とおーー！」

マーべラス、ハカセ「ぎゃあー！」

・・・・・

ターザン「さあ、終わりの時です。」

「マーベラス」よしーー！」

ゴーカイジャー一同が扉を開けると

ジンラシット「インサアアアアアンーーー！」

ゴーカイジャー「ふふつーー？」

『全員、お出』

現れたのは偉大な先輩ゴレンジャーとジンラシット。

ゴーカイジャー「えやあーー？」

ターザン「あーー扉をくぐるのですーー！」

マーベラス「急げーー！」

ゴーカイジャー一同は扉をくぐった。

ゴーカイジャー「終わつたああすーー！」

しかし、ルカとアイムはしばらくしびれたりマーベラス達男組はお尻がしばらく赤かった。

終わり

最終回にて（後書き）

次回作

四季・・・それは世界を安定させる大切なものの、それは異世界にあるハルル、ナーツ、アキン、フュコーンという4つの国により存在していた。

七
か
七

「アハハハハー！ 全て吹き飛んでしまえーーー！」

「……」

「危険だワイン！？』

世界を嵐に包み込もうとする組織・アラシンがその国を襲つた。国が乱れれば世界は破滅してしまう。

しかし

「ちょっと・・・私は・・・そんな事・・・」

「良いのー！私達がやるのよおー！」の私にまつかせなさい！！」

早乙女夏樹、新川冬美が伝説の戦士プリキュアとなりアラシンに立ち向かう！！

正月 執筆予定！！

•
•
•
•
•
•

笑つてはいけない「一カイジャーはこれにて終了です。
ありがとうございました。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3613z/>

海賊戦隊ゴーカイジャー!!絶対に笑ってはいけないのぞヒビ探偵事務所!!

2011年12月28日21時53分発行